

ヤマタスポーツパーク県民体育館TO機材説明

①ファウル回数操作盤（操作：アシスタント・スコアラー）

チームファウル・個人ファウルの操作

※必ず試合開始前に全て表示が点灯するか確認しましょう。



電源ランプ点灯確認

チームファウル操作

加算ボタンは1クォーターの間にあったチームファウルを加算していくボタンです。（間違えた場合のみ減算ボタン）

※1回しか押していないのに、2つ加算される場合があります

4つ目のチームファウルの時ランプボタンを押しを赤いランプ点灯し、次のファウルからフリースローになることを示しますが、点灯するタイミングは2つあります。

①スローインの場合：審判が選手にボールを渡したタイミング

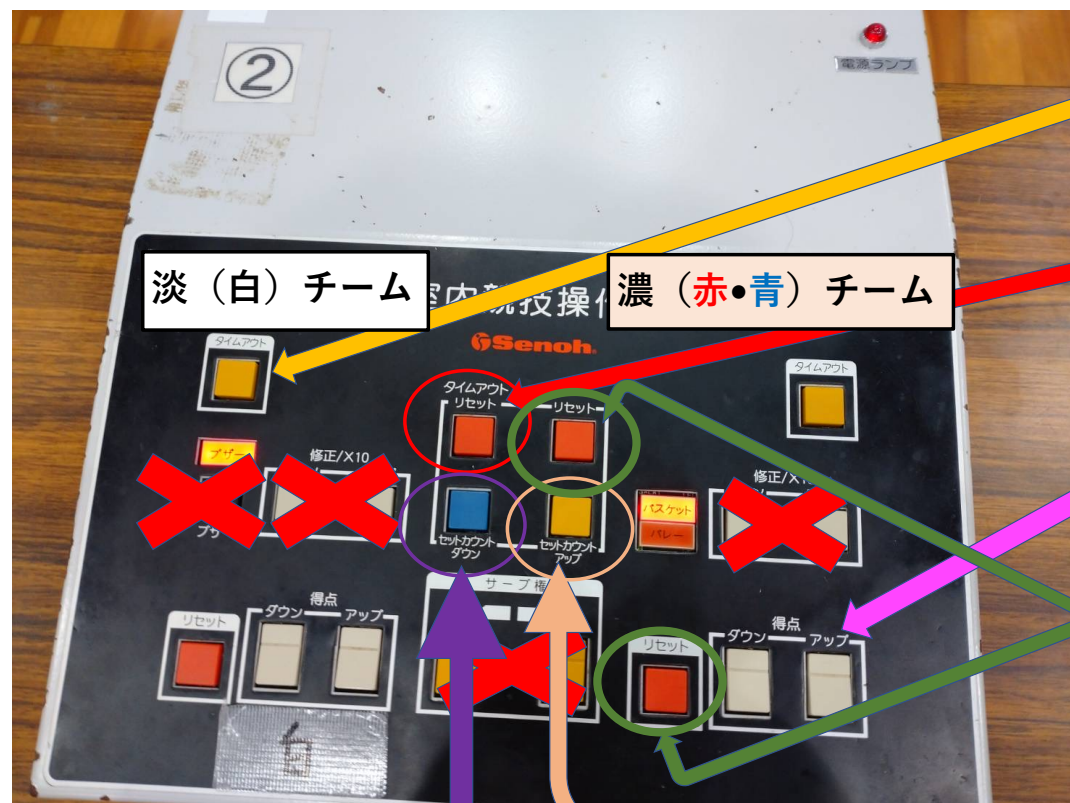
②フリースローの場合：審判が選手（シューター）にボールを渡したタイミング

リセットボタン

クォーターが終了したら必ずリセットボタンを押しましょう

※赤ランプはリセットボタン押しても消えません（必ずランプボタンを押しましょう）

②得点・タイムアウト計測操作盤（操作：アシスタント・スコアラー）



タイムアウト計測操作

タイムアウトを審判が合図した時、請求したチームにタイムアウトを1つ加算しましょう（県民体育館は加算方式）

タイムアウトリセット

2Q終了後、4Q終了後（スコア確認が終わるまでは点灯必要）にタイムアウトをリセット（リセットボタン押しましょう）

得点操作

得点アップボタンを押しチームの得点を入れる
誤ってしまった場合ダウンボタンを押し得点を合わせましょう

得点・クォーター表示リセットボタン

4クォーター終了後スコアが合えば得点をリセットして下さい

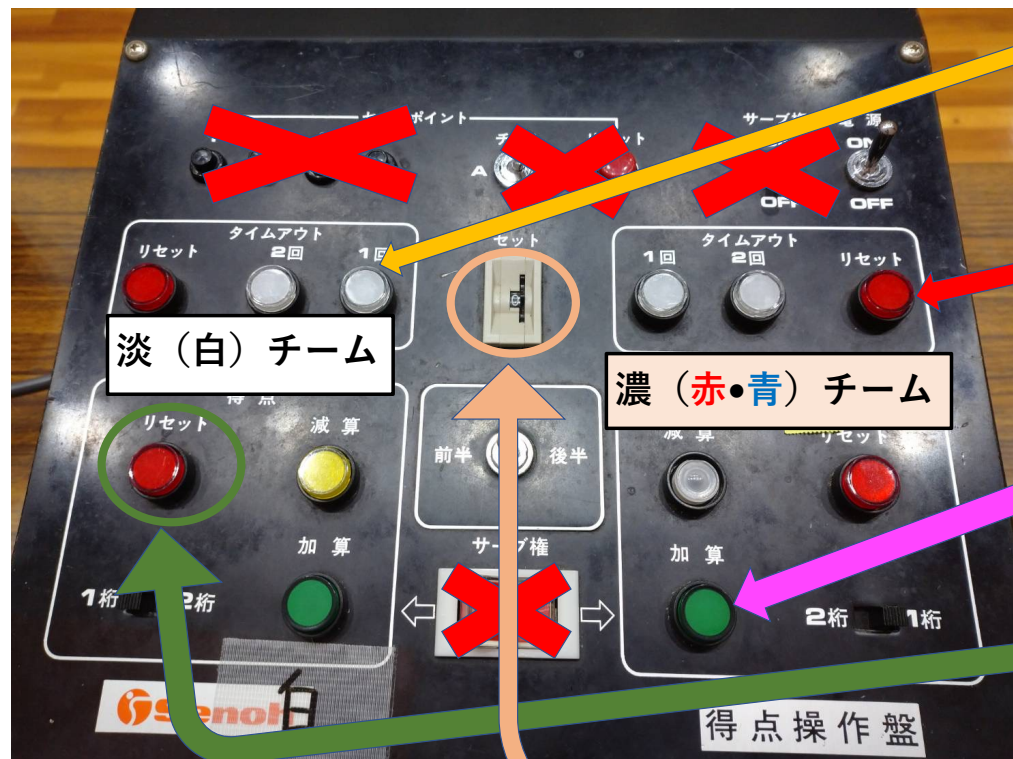
セットカウントアップボタン

1クォーター→休憩→2クォーター→休憩等と表示を変えるボタン

※必ず休憩終了のブザーがなるまでは表示を変えない

誤ってしまった場合セットカウントダウンボタンで表示を戻しましょう

②得点・タイムアウト計測操作盤（操作：アシスタント・スコアラー）サブコート



タイムアウト計測操作

タイムアウトを審判が合図した時、請求したチームにタイムアウトを1つ加算しましょう（県民体育館は加算方式）

タイムアウトリセット

2Q終了後、4Q終了後（スコア確認が終わるまでは点灯必要）にタイムアウトをリセット（リセットボタン押しましょう）

得点操作

得点アップボタンを押しチームの得点を入れる
誤ってしまった場合ダウンボタンを押し得点を合わせましょう
スイッチが1桁になっていることを必ず確認

得点・クォーター表示リセットボタン

4クォーター終了後スコアが合えば得点をリセットして下さい

セットカウントダイヤル

1クォーター→2クォーター→3クォーター等と表示を変えるダイヤル

※必ず休憩終了のブザーがなるまでは表示を変えない

誤ってしまった場合表示を戻しましょう（サブコートは休憩表示は有りません）

③ブザー・ポゼッションアロー操作盤（操作：スコアラ・一部タイマー）



ポゼッションアロー操作

必ず電源を入確認

1 Qジャンプボールで負けたチーム側から次のポゼッションを指す。示す方の請求ボタンを押す。ポゼッション変える場合示していた方のリセットボタンを押す。次のポゼッションの請求ボタンを押す。※2クォーター終了後コートチェンジが行われるため反対にしましょう。

請求ボタン：ポゼッションを示す際押すボタン

リセットボタン：ポゼッションを表示を消すボタン

「オルタネイティングポゼッションルール」とは、「ヘルドボール」や「ボールがリングとボードの間に挟まる」などの「ジャンプボールシチュエーション」になったとき、両チームが交互にスローインをして試合を再開する方法です。

ブザー操作

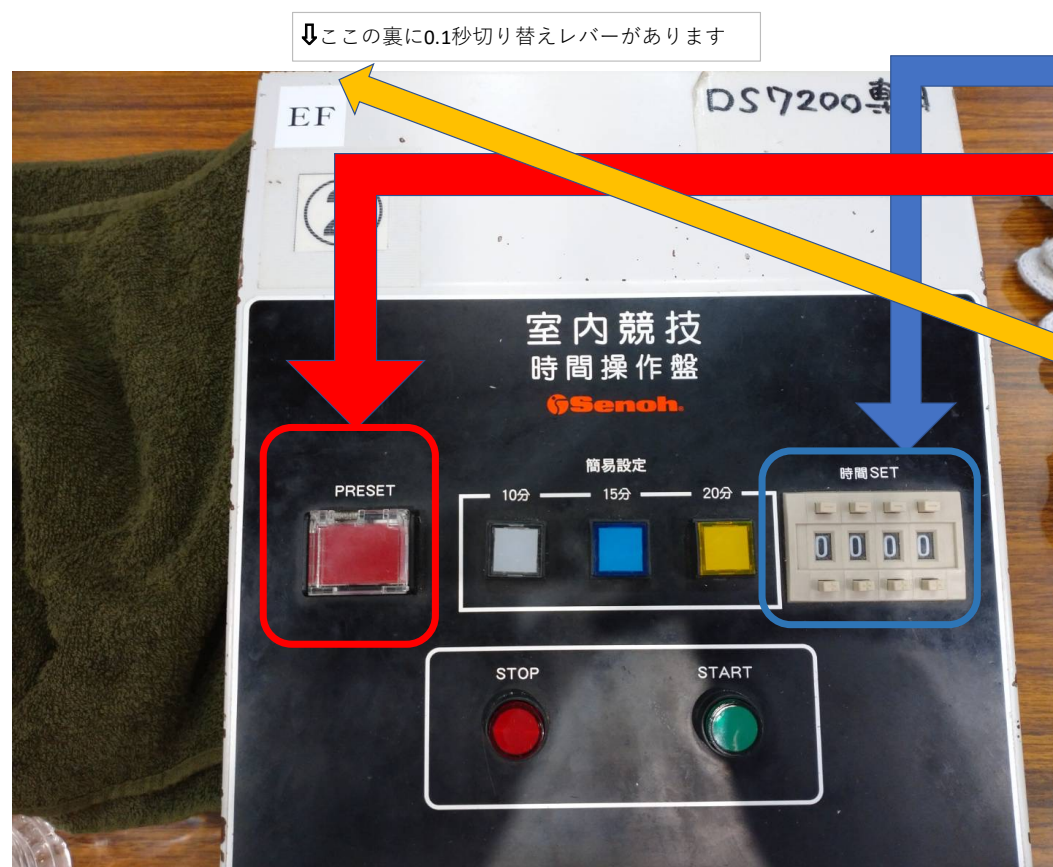
交代、タイム・アウト、試合開始前に押すボタン

押しているだけ鳴ります。少し長めに押しましょう。

中学生以上：3分前・1分30秒前にタイマーが鳴らしましょう。

2 Qと 4 Qは30秒前でブザー鳴らしましょう

④タイマー操作盤（操作：スコアラー・一部タイマー）



↓この裏に0.1秒切り替えレバーがあります

タイマー操作

競技時間セット方法

時間SETを見ながら時間をセットする。

赤いリセットボタンの蓋を開け、リセットボタンを押すと時間が反映されます。

（試合開始後、休憩時間セットしておくでスムーズにロスなく休憩時間を開始できます）

5.3秒にリセットする場合

0.1秒にスイッチを切り替え0530にセットしリセットボタンを押す
時限終了後休憩時間などをセットする際0.1秒のスイッチを切り替えること。

タイマー（時計）の動かし方

競技時間を進めたり、止める方法。

ストップボタン（赤色）：時計を止める

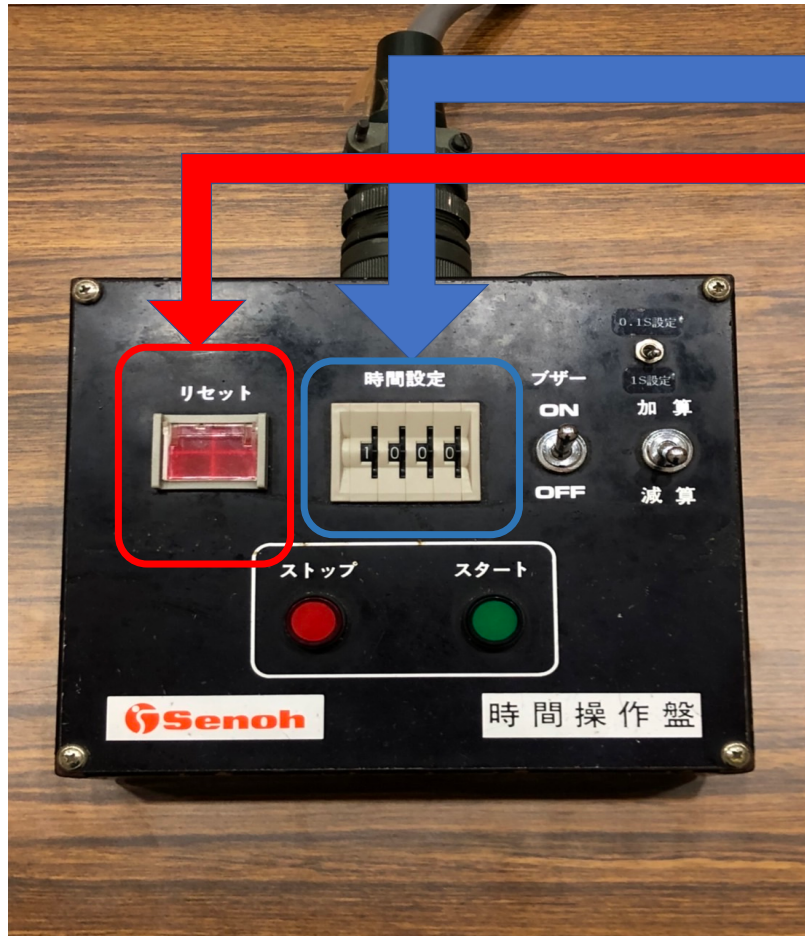
スタートボタン（緑色）：時計を動かす

しっかりとボタンを押そう

集中して審判の手、笛の音を聞こう

タイマーはしっかりと腕をまっすぐ挙げよう

④タイマー操作盤（操作：スコアラー・一部タイマー）サブコート



タイマー操作

競技時間セット方法

時間SETを見ながら時間をセットする。

赤いリセットボタンの蓋を開け、リセットボタンを押すと時間が反映されます。

（試合開始後、休憩時間セットしておくともスムーズにロスなく休憩時間を開始できます）

減算レバーになっていること

ブザーはON（オン：入）になっていること

タイマー（時計）の動かし方

競技時間を進めたり、止める方法。

ストップボタン（赤色）：時計を止める

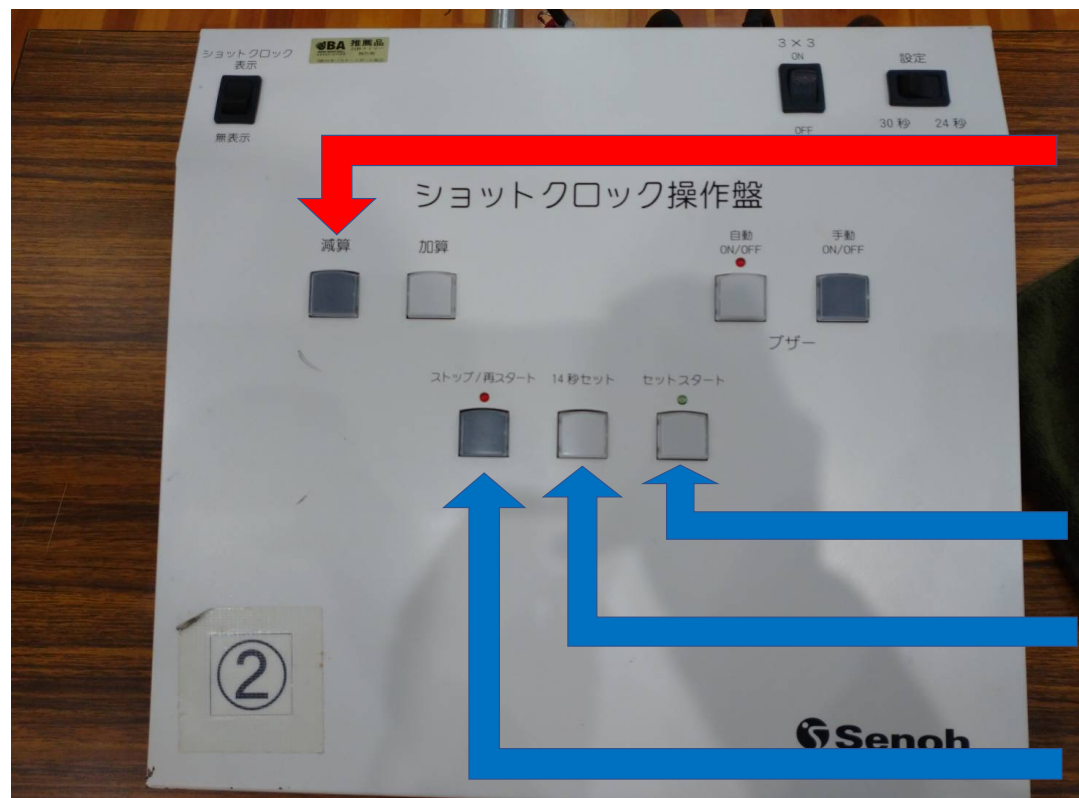
スタートボタン（緑色）：時計を動かす

しっかりとボタンを押そう

集中して審判の手、笛の音を聞こう

タイマーはしっかりと腕をまっすぐ挙げよう

⑤ショットクロック操作盤（操作：ショットクロックオペレーター）



ショットクロック：表示、3 x 3：OFF、設定：24秒、ブザー（自動）：ONになっていること。

減算：審判の指示により、ショットクロックの表示秒数を減らすときに使います。

加算：審判の指示により、ショットクロックの表示秒数を増やすときに使います。

セットスタート：24秒から計測するときに使います。

ボタンを押す：24秒の表示が消える。（シュートが入ったりリングに触れた時やファウルやボール保持が変わり24秒にリセットするとき）

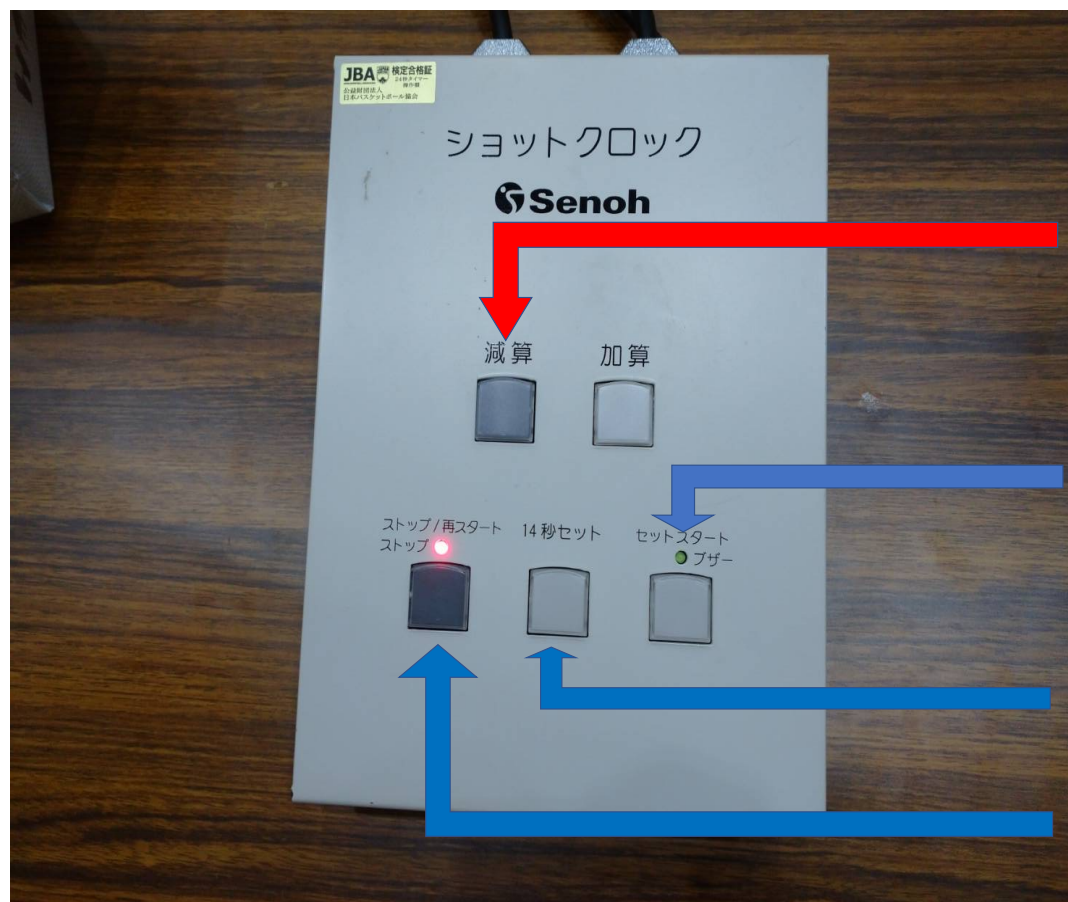
ボタンを離す：24秒から計測を始める。

14秒セット：オフェンスリバウンドによる14秒からスタートするときに使います。

〔セットスタート〕ボタンを押したまま、〔14秒セット〕ボタンを1回押し、〔セットスタート〕ボタンを離すと14秒から計測を始めます。

ストップ／再スタート：審判が笛を吹いたときにショットクロックを止めたり、継続の場合にスタートするときに使います。審判が笛を吹いたときには、ストップさせる癖を付けましょう。

⑥ショットクロック操作盤（操作：ショットクロックオペレーター）サブコート



背面：3 x 3：OFF、設定：24秒、ブザー（自動）：ONになっていること。

減算：審判の指示により、ショットクロックの表示秒数を減らすときに使います。

加算：審判の指示により、ショットクロックの表示秒数を増やすときに使います。

セットスタート：24秒から計測するときに使います。

ボタンを押す：24秒の表示が消える。（シュートが入ったりリングに触れた時やファウルやボール保持が変わり24秒にリセットするとき）

ボタンを離す：24秒から計測を始める。

14秒セット：オフンスリバウンドによる14秒からスタートするときに使います。

〔セットスタート〕ボタンを押したまま、〔14秒セット〕ボタンを1回押し、〔セットスタート〕ボタンを離すと14秒から計測を始めます。

ストップ／再スタート：審判が笛を吹いたときにショットクロックを止めたり、継続の場合にスタートするときに使います。審判が笛を吹いたときには、ストップさせる癖を付けましょう。